



第5回常任理事会

日時 平成23年6月14日(火) 18:00~20:07
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事

(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 新たな北海道病院事業改革プランの策定に係る検討委員会(仮称)委員の推薦に関する件

(深澤常任理事)

直江常任理事を推薦することと決定。

第2号 北海道健康づくり財団からの新公益法人移行に伴う「最初の評議員」候補者の推薦に関する件

(深澤常任理事)

現在、当該財団理事を務める当会役員の中から、宮本副会長と山光理事の2名を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座68件、道医認定生涯教育講座59件、合計127件を承認することと決定。

報告事項

1. 生活保護医療に関する打ち合わせ[5月23日(月)]について(橋本常任理事)

当会と北海道保健福祉部福祉局福祉援護課との間で標記打合せを開催し、今年度の実施要綱・個別指導実施計画(案)について道担当者から説明を受け、協議の結果、了承した。「生活保護法指定医療機関に対する個別指導」実施予定医療機関数は36ヵ所、病院15、診療所21。なお、札幌市・函館市・旭川市(政令都市、中核市)においては、それぞれで本指導が実施されるため、上記実施件数から除いている。

2. 都道府県医師会環境保健担当理事連絡協議会[6月1日(水)]について(岡部常任理事)

日本医師会が環境保健をテーマに開催する連絡協議会としては初の試み。特別講演「環境中の放射線・放射能と健康に関する基本的知識」(国立保健医療科学院生活環境研究部・榎田部長)の後、環境に対する日本医師会の取り組み、東日本大震災におけるアスベスト対策・光化学オキシダント対策、水銀条約の制定に向けた対応および熱中症対策、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)への対応、石綿の健康被害と医療、以上5点について情報提供があった。

3. 第14回日本臨床救急医学会総会・学術集会[6月3日(金)・4日(土)・札幌市]について

(目黒常任理事)

札幌医科大学医学部救急集中治療医学講座・浅井康文教授が学会長となり「救急における多職種の連携をいかに構築するか」をテーマに開催された。会長・副会長講演のほか、特別企画「東日本大震災特別報告会」、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、一般演題等が行われ、約1,900名の参加があった。なお、第15回は平成24年6月16日(土)・17日(日)に、熊本大学大学院生命科学研究部侵襲制御医学分野・木下順弘教授が学会長となり、熊本県立劇場ほかで開催される。

4. 緊急臨時的医師派遣事業推進協議会・第3回運営委員会[6月10日(金)]について(深澤常任理事)

推進協議会では、平成22年度の実績が報告され、その後、平成23年度の予算について協議を行い、了承された。引き続き、運営委員会が開催され、新たに派遣申請のあった1医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。また、新たな派遣元として2医療機関が登録された。

5. 女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会[6月11日(土)]について(藤井常任理事)

6月15日から開始となる女性医師等支援相談窓口事業の概要、育児サポートの仕組み等について小職から説明し、その後、質疑応答を行った。

6. 日医各委員会報告

(1) 救急災害医療対策委員会[5月26日(木)]について(目黒常任理事)

本委員会で試案段階にあったJMATは、東日本大震災により急遽、組織化され、現在も一部の被災地で活動中であるが、災害発生前、派遣前・派遣決定時、派遣中、収束時それぞれの課題整理案に基づき、検証をスタートさせた。

(2) 労災・自賠償委員会[6月8日(水)]について(深澤常任理事)

まず、労災保険関係の懸案・課題等、本委員会として議論すべき項目の整理を行った。続いて、本委員会における答申書の構成(案)、次期労災診療費算定基準改定に向けての要望事項に

ついて協議した。また、先般実施した「交通事故診療に係る健康保険使用問題に関するアンケート調査結果」について事務局から報告を受けた（現在解析中であり、後日公表予定）。

(3) 定款・諸規程改定検討委員会[6月11日(土)]
について(宮本副会長)

「会長選挙制度に関する検討委員会」の答申を受け、次回第125回臨時代議員会に提案する定款施行細則改正案(選挙管理委員会の設置)と、新公益法人制度に向けた諸規程類の改定について協議した。

7. 外部各委員会報告

(1) 北海道介護支援専門員協会第2回理事・幹事会[5月21日(土)]について(前川常任理事)

平成23年度総会、ケアマネジャー研修会(厚労省老健局川又課長を招き介護保険法改正と介護支援専門員の課題についての講演)、実践セミナー(札幌市・北見市開催)、東日本大震災に伴うケアマネ・ボランティアの登録などについて報告があった。

(2) 第1回北海道高齢者虐待防止推進委員会[5月23日(月)]について(前川常任理事)

新年度役員の選任については、委員長に石川秀也氏(北海道医療大学看護福祉部教授)、副委員長に大内高雄氏(北星学園大学社会福祉学部非常勤講師)と中川翼氏(定山溪病院長)の両名が任命され、平成22年度事業実績報告、平成23年度事業計画および研修企画(案)などについて協議された。

(3) 第15回北海道医療対策協議会[5月24日(火)]
について(宮本副会長)

平成22年度の医師派遣(紹介)の調整結果が報告され、その後、地域卒業医師の義務年限中の配置先に関する考え方などについて説明が行われた。意見交換では、自治体の首長から、医師不足や偏在等の地域の現状を国に強く訴えるべきであると意見が寄せられた。

(4) 北海道エキノコックス症対策協議会[5月25日(水)]について(渡邊常任理事)

平成22年(1月~12月)は新規患者12名で依然として高齢者が多い傾向にあること、平成21年度の媒介動物疫学調査ではキツネが37.1%(例年は20%前後)となっていることを確認した。

(5) 岩見沢学校給食中毒における連絡通報体制検証会議[第1回:4月28日(木)、第2回:5月16日(月)、第3回:5月27日(金)]について
(岡部常任理事)

本年2月に岩見沢市内で発生した学校給食による食中毒事案に関し、当会・北海道教育庁(学校教育局)・北海道保健福祉部(健康安全局)の3者で連絡通報体制を中心に検証を行った結果が取りまとめられた。

(6) 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会第1回正副会長・幹事合同会議[6月6日(月)]について(前川常任理事)

平成22年度事業報告・収支決算、全国地域包括センター協議会の動向につき報告があり、平成23年度事業計画(案)について協議された。地域包括支援センターは、特に軽度要介護者の地域ケア(予防ケア)の相談窓口として重要であるが、業務内容が複雑であり、現場では混乱しているなどとの意見があることから、今後、軽度要介護者が介護保険対象除外の危惧があることを踏まえ、慎重に経過を見ていく必要がある。

8. 中央情勢報告(直江常任理事)

四病院団体協議会医業経営・税制委員会で議論されている、診療報酬改定における消費税問題について説明した。

9. 各部報告

(1) 第1回医療政策部担当理事会[5月24日(火)]
について(直江常任理事)

地域医療再生基金を活用した全道事業の一つである電子レセプト情報等データベースシステム整備事業では、外来、入院のほか救急医療、療養病棟、在宅診療等11項目の自給率と受療動向を分析した平成22年度結果報告書(委員会版)を取りまとめた。今後、運営委員会で承認を経て、市町村に公表するため、事前に当会に対して承認を求められたが、北海道の責任において目的外使用をしない、慎重に取り扱うことを条件に了承することとした。

(2) 総務部・財務部合同担当理事会[第1回:5月27日(金)、第2回:6月7日(火)]について
(深澤常任理事)

計2回の担当理事会にて協議した議題の検討状況について報告した。新公益法人制度に係る定款等変更案や当会館の中長期保全計画、会費・負担金や旅費規程の見直し等について、今後も継続して検討する。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 各専門委員会委員について(三宅副会長)

当会に推薦依頼のあった平成23年度の委員について、各専門委員会委員および小委員会委員の分担案を示し、了承された。

2. 第1回地域医療専門委員会[5月30日(月)]について(宮本副会長)

「北海道へき地保健医療計画(改定版)」の策定にあたり、前回の委員会の意見により修正した点について説明が行われた。その後、三次医療圏単位に15億円を基準額として交付される「新たな北海道地域医療再生計画」の事業内容および今後のスケジュールについて説明がなされ、了承された。

第6回常任理事会

日時 平成23年6月28日(火) 18:00~19:38
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事
(事務局：武藤事務局次長ほか11名)

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件

(深澤常任理事)

6月の審査委員会で指定「可」とされた新規1名の申請者を指定医師とすることに決定。

第2号 北海道歯科保健連絡協議会構成員の推薦に関する件(深澤常任理事)

岡部常任理事を推薦することと決定。

第3号 民主党北海道支部連合会政策懇談会に関する件(直江常任理事)

7月2日開催の標記懇談会に提出する「地域医療の確保と国民皆保険制度の堅持について」をはじめとした8分類19項目にわたる要望事項と出席者ならびに説明者を決定。

第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(小山常任理事)

認定要件を満たした新規2名、更新81名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(小山常任理事)

認定要件を満たした新規1名、更新6名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座31件、道医認定生涯教育講座33件、合計64件を承認することと決定。

第7号 その他

○ 7月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 第1回産業保健活動推進委員会ならびに同委員会第1回小委員会[6月21日(火)]について

(小山常任理事)

うつ病対策を引き続き推進すべく同委員会内に小委員会が設置されたほか、今年度の産業保健研修会(4回)の講師ならびに北海道の補助事業である「平成23年度うつ病医療体制強化事業」について協議した。続いて開催した小委員会では、上記事業を展開する上での具体的な方策について協議した。

2. 第1回都道府県医師会長協議会[6月21日(火)]について(長瀬会長)

母体保護法について、災害に対する医療支援について、消費税補填分問題について、診療報酬・介護

報酬の同時改定議論について、日本医師会定款施行細則改正(選挙管理委員会関連)について、等12題の協議があった。詳細は日医ニュース等を参照願いたい。

3. 都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会[6月22日(水)]について(深澤常任理事)

有床診療所に関する検討委員会の中間とりまとめ、岐阜県包括的地域ケアネットワーク(はやぶさネット)について説明の後、諸問題に関する協議を行い、活発な議論が交わされた。

4. 第13回日本医療マネジメント学会学術総会[6月24日(金)・25日(土)・京都]について(水谷・橋本各常任理事)

京都市勧業会館みやこめっせ・京都会館において、福知山市民病院(香川恵造会長)の当番で開催された。出席者総数4,000余名。「地域で守る患者中心の医療—チーム医療と医療連携」と題して、地域連携の現状と今後の課題、医療安全の取り組みと実践など数多くの講演が行われた。発表演題は一般演題1,022題、クリティカルパス54題であった。

5. 日医理事会報告(長瀬会長)

理事打合せ会での協議の後、理事会では、定款・諸規程改定検討委員会中間報告の件、医療事故調査に関する検討委員会答申の件、等につき報告があった。

6. 日医各委員会報告

(1) 精神保健委員会[6月15日(水)]について

(小山常任理事)

会長諮問「うつ・自殺対策における具体的な対応の提示」に答えるべく具体的な項目ごとに種々意見交換を行った。また、日本精神神経科診療所協会副会長・渡辺委員から、うつ・自殺対策など精神科医療における診療報酬が十分でないことから、認知行動療法がほとんど行えないような非常に残念な現状にあることについて報告があった。

(2) 産業保健委員会[6月16日(木)]について

(小山常任理事)

会長諮問「地域産業保健センターと産業保健推進センター並びにメンタルヘルス対策支援センターの再構築と医師会のかかわり方」に答えるべく種々意見交換を行った。また、委員会閉会直後に開催される厚労省の「産業保健支援の在り方に関する都道府県医師会ヒアリング」への対応について協議した(なお、今回の常任理事会の中で、小職よりヒアリングの模様を説明した。詳細は6月23日付メディアファクス6143号5頁を参照願いたい)。

7. 中央情勢報告(直江常任理事)

政府が6月17日に公表した「社会保障・税一体改革成案(案)」とそれに対し、三師会が政府関係閣僚等に提出した意見書について解説した。

8. 各部報告

(1) 第3回総務部・財務部合同担当理事会[6月27日(月)]について(深澤常任理事)

会館の耐震診断の見積もり結果や、定款等検討委員会について、また旅費規程の見直し、会員名簿の発行に伴う個人情報掲載項目等の確認、医育ブロック会議の開催について協議した。

9. その他

(1) 第45回北海道ドクターズゴルフ協議会役員会[6月26日(日)・函館市]について

(水谷常任理事)

本年の大会は、函館市医師会の担当により115名の参加者を得て盛会裏に終了した。

役員会では、昨年の決算報告・監査報告が承認された。続いて、第46回大会(平成24年度)は、帯広市医師会の担当にて6月24日(日)十勝CCで開催し、第47回大会は、恵庭市医師会の担当にて平成25年6月30日(日)恵庭CCで開催することが承認された。

道医の動き

- 6月11日 女性医師等支援相談窓口コーディネーター連絡会、日医定款・諸規程改定検討委員会(宮本副会長)
- 6月13日 三役会
- 6月14日 第5回常任理事会、広報委員会
- 6月15日 日医精神保健委員会(小山常任理事)
- 6月16日 糖尿病等生活習慣病予防のためのスキルアップ研修会(～17日)、日医産業保健委員会(小山常任理事)、日医介護保険委員会(前川常任理事)、日医広報委員会(山科常任理事)
- 6月18日 第1回郡市医師会長協議会、北海道厚生局との打合せ
- 6月21日 産業保健活動推進委員会・小委員会、日医理事会(長瀬会長)、都道府県医師会長協議会(長瀬会長、三宅副会長)、
- 6月22日 医事紛争処理委員会、医療安全部担当理事会、都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会(深澤常任理事、沖理事)、日医有床診療所に関する検討委員会(沖理事)
- 6月23日 日医医療IT委員会(水谷常任理事)

- 6月24日 日本医療マネジメント学会学術総会(～25日、京都市、橋本・水谷各常任理事)
- 6月26日 北海道ドクターズゴルフ大会(北海道CC大沼コース)
- 6月27日 三役会、総務部・財務部合同担当理事会
- 6月28日 第6回常任理事会、東北地方太平洋沖地震第4回北海道医師会災害対策本部会議
- 6月29日 日医看護職員検討委員会(北野常任理事)
- 7月1日 日医地域医療対策委員会(三宅副会長)、日医男女共同参画委員会(藤井常任理事)
- 7月2日 民主党北海道総支部連合会政策懇談会、定款等検討委員会、日医公衆衛生・がん対策委員会がんクリティカルパスWG(畑副会長)
- 7月4日 うつ病・自殺予防対策事業モデル地区打合せ(釧路市、小山常任理事)
- 7月5日 北海道糖尿病対策推進会議
- 7月6日 日医病院委員会(直江常任理事)
- 7月7日 地区別事務懇談会(中央・空知ブロック)、日医公衆衛生・がん対策推進委員会(畑副会長)
- 7月8日 地区別事務懇談会(道南・道東ブロック)、日医勤務医委員会(岡部常任理事)
- 7月10日 医師会立准看護学校連絡協議会